

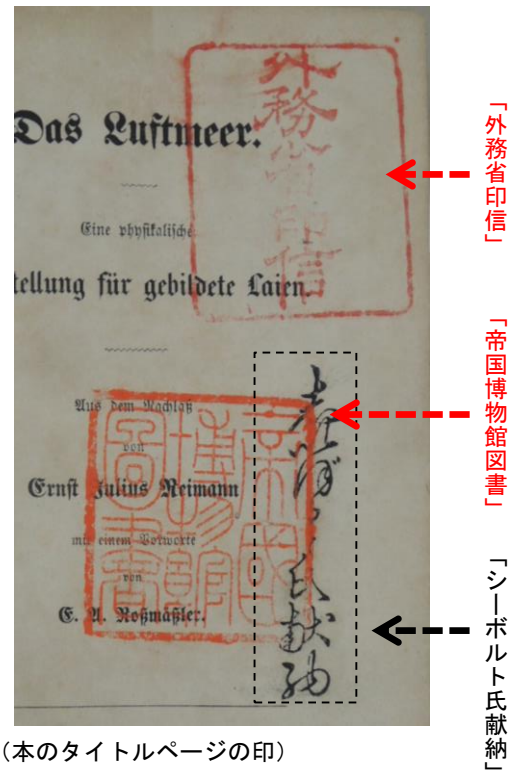
## 「シーボルト旧蔵本」の修理及びデジタル化による公開事業

—「シーボルト旧蔵本」の紹介と事業の進捗状況の報告—

東京国立博物館資料館ではこのたび公益財団法人図書館振興財団の助成をいただき、『「シーボルト旧蔵本」の修理及びデジタル化による公開事業』を行うことになりました。

### 「シーボルト旧蔵本」について

最初に東京国立博物館資料館が所蔵するシーボルト旧蔵本について簡単にご紹介します。「シーボルト旧蔵本」は、日本近代科学史上で著名なドイツの医学・動物学者シーボルトがオランダ館医師として来日し、幕府から追放後、安政6年に再来日した時に携えてきた洋書及び滞留中に収集した洋書です。明治2年に長子アレキサンダー・シーボルトが外務省に寄贈した後、外務省から大学南校に貸与され、そののち明治17年に農商務省博物館の所管となり現在に至ったもので、総数約300冊を数えます。内容は、動物図譜、鳥類図譜、植物図譜などの自然科学関係の図譜、文献、言語学、宗教、航海書などからなります。江戸時代西欧の東洋に対する深い関心が知られる『和漢錢志』のドイツ語版などシーボルトにより日本に逆輸入された文献も含まれています。



(本のタイトルページの印)

### 本事業における「修理」と「デジタル化」について

本事業では、「シーボルト旧蔵本」を永く保存・活用するために、修復とデジタル撮影を実施するものです。修復にあたっては、原装を伝えるこれら蔵書の情報を失わないように、必要最小限度の手当てにとどめ、保存用の箱を作製します。修理方法や保存箱製作においては、当館で重きを置いている「対症修理（現状維持のための最小限度の手当てを館内ではこう呼んでいる）」という考え方を熟知した技術者によって行います。

閲覧については、研究上に原本でなければならない場合を除いて、原則はデジタル化した画像を利用いただき、さらに Web で公開することで、広く一般利用者へのサービス向上につとめます。

### 現在までの事業の進捗状況

現在までの事業の進捗状況を以下に時系列で報告します。

## 2014年5月 事業準備開始

### 2014. 5. 20 書庫の整理

シーボルト本(「シーボルト旧蔵本」の略)は貴重洋書の中に混配されているため、これを抜き出してまとめて置くための書架スペースを検討し、予定場所にある図書の移動、棚の清掃等を行いました。移動に伴う新しい書庫内配置図も更新しました。

### 2014. 5. 23 データ整理

前年度より実施してきた、当館のシーボルト本の遡及データとシーボルトの図書目録 (Catalogue de la bibliotheque, apportée au Japon par F. de Siebold 大井久五郎, 郁文堂書店(發賣), 1936)との照合結果を整理しました。

### 2014.6.11～13 シーボルト本の 抜き出し作業

シーボルト本抜き出しのための作業リストを作成。このリストと照合しながら、シーボルト本を貴重洋書の書架から抜き出して別の列に移動しました。



### 2014.6.23/7.1 修理する本の 選定

別置したシーボルト本の損傷状態をチェックしながら、今年度修理予定の77冊を選定しました。

### 2014.7.8 打ち合わせ

助成事業について作業開始前の細かい打ち合わせを行いました。

## 2014年7月 本の修理・保存箱製作開始

2014.7.9

本搬出(1回目)  
本修理開始

書庫より第1回目の資料搬出を行いました(16冊)。本の修理を開始しました。



長い年月の間に汚  
れが蓄積していま  
す！

2014.7.14

保存製作製開始

修理の終わった本から保存箱製作を開始しました。



中性のボードに中  
性糊で中性布を貼  
っていきます！

2014.7.11

データ整理

6月に行った図書の点検情報や貸出日などの情報を、情報資料室で管理する洋書のデータに反映させました。

2014.7.14

データ整理

以前の図書目録との照合作業で対応が確認されなかったシーボルト本（寄贈印はあり）9冊について、作業リストに追加し、シーボルト本の書架に移動すべく貴重洋書の棚から抜き出しを行いました。

2014.8.25

第1回検収

第1回搬出分の図書の修理と箱の作成ができたものについて、検収を行いました。



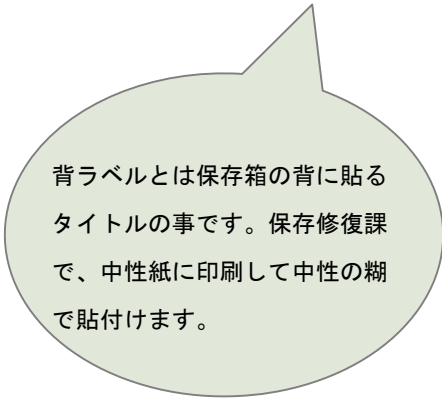
本搬出(2回目)

第2回目の修理図書の搬出を行いました。

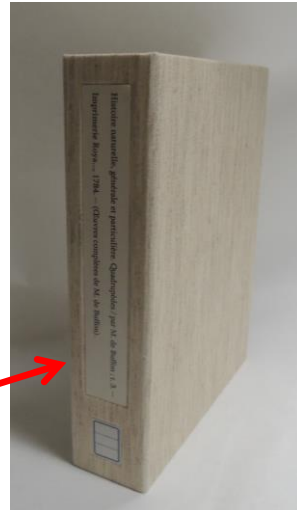
2014.9.1

ラベルデータ  
作成(1回目)

第1回搬出分の箱の背ラベル作製用データを保存スタッフに送りました。



コレ



2014.10.6

・ラベルデータ  
作成(2回目)  
・本返却(1回目)  
・本搬出(3回目)

第2回搬出分の箱の背ラベル作製用データを保存スタッフに送りました。

第1回目に搬出した図書が返却されました(13冊)。

第3回目の修理図書の搬出を行いました(18冊)。

2014.11.5

ソフトウェア発注

デジタルアーカイブのためのソフトウェアを発注しました。

2014年12月 デジタル撮影開始

2014.12.1

デジタル撮影開始予定